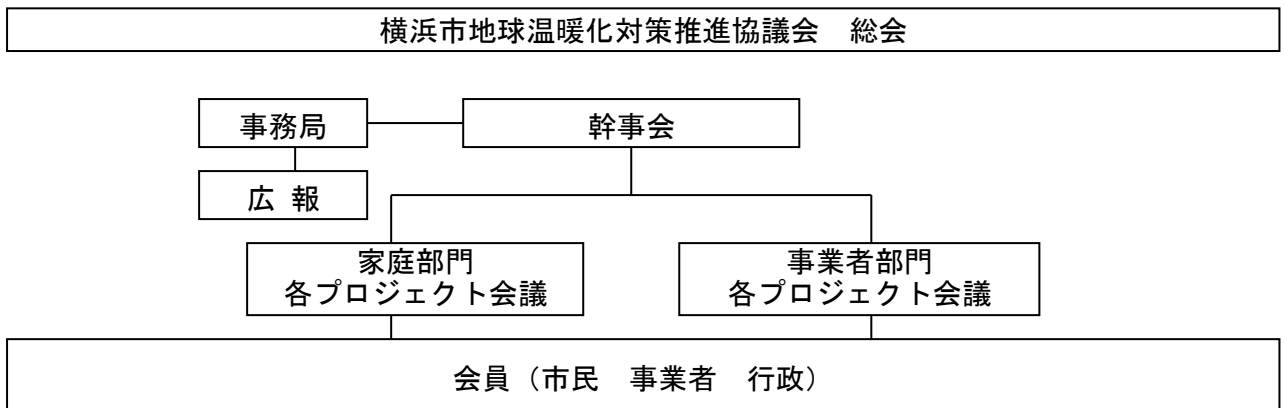


## 平成29年度事業計画

### 1 平成29年度の組織構成・活動目的

■事業者・団体・個人が一体となった当協議会は、横浜市の基本目標を実現するためにエネルギーアクションプランの一翼を担う組織として、横浜市の施策との連携を図り、家庭及び市内中小企業における「節電・省エネの推進」、「脱温暖化行動の推進」の取り組み実践と、参加者の拡大に向けた普及啓発の継続実施を活動の柱とする。

エネルギーアクションプランに掲げた目標の達成にむけて、「家庭における省エネルギーの推進」・「再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用」、横浜市が推進する「あかりプロジェクト事業等」、「水素の利活用の普及」等に中心を置いた活動を実施する。その実現のために、会員事業者、団体、個人、大学との連携を強め、さらに区役所、自治会・町内会との連携に力を入れる。さらにヨコハマ・エコ・スクール（YES）事業、3R 夢事業等とも連携する。



### 2 広報

（事務局）

目的	ホームページ、Facebook 等を通して市民に地球温暖化対策の推進に関する活動や情報を迅速に、またわかりやすく伝えると共に、会員の熱意のある取り組みを広く広報する。
内容	①ホームページの更新やニュースレターによる情報伝達 ②横浜市及び会員からの情報提供を迅速に伝える ③会員が各プロジェクトや活動に参加できる様に、ホームページ等で参加呼びかける
期間	通年
予算	100 千円

### 3 市との協定事業

29年度重点テーマをすべての協定事業において取り組むこととする。

また、会員事業者・団体、個人との連携に力を入れる。

#### <29年度重点テーマ>

- ①こまめな省エネへ向けて省エネパンフレットの普及
- ②LED照明、省エネ家電等の普及
- ③太陽光発電の普及
- ④既築住宅のエコ化(ペアガラスの活用、エコ改修)
- ⑤やります宣言シートの取組
- ⑥会員事業者、団体、プロジェクト等との連携

#### (1) 区民まつり等のイベントでの29年度重点テーマの普及

目的	区役所等が開催する環境イベント等に参加し、29年度重点テーマのPRを実施し、二酸化炭素排出削減を実践する人を増加させる。
内容	① 省エネパンフレットを配布して家庭での省エネ実践取組を呼びかける ② LED照明、省エネ家電の使用を呼びかける ③ 事業者と協力しペアガラスの普及を促進する ④ 会員の太陽光発電事業者と連携してよこはま太陽光発電普及キャンペーン2020の取組を呼びかける ⑤ 「やります・やっています宣言」シートを実施する
場所	各区の区民まつり等のイベント
対象	区民まつり等来場者
期間	平成29年6月～平成30年1月 20回程度
予算	430千円
協力団体等	区役所、自治会・町内会、地域の活動団体、事業者等

#### (2) よこはま太陽光発電普及キャンペーン2020

目的	エネルギーアクションプランにも位置付けられている再生可能エネルギーの普及促進として、個人住宅等(自治会・町内会、企業等含む)への太陽光発電の設置を促進する。
内容	29年度はモデル取組として、会員の太陽光発電事業者やメーカー等と連携し、太陽光発電の普及を促進する。次年度以降は事業者等の拡大を検討する ①パンフレット等の作成、配布、HPへの掲載、FMヨコハマでの呼びかけ等あらゆる場、方法で広く広報する ②設置者の協力を得て、年度末には発電量を把握して、削減した二酸化炭素量を算出して公表する。 ③公表・活用については、Jクレジット等への登録を検討し、オフセットを目指す
場所	市内全域
対象	個人住宅、自治会・町内会、会員企業等
期間	平成29年6月～30年1月
予算	297千円
協力団体等	関連事業者、団体、区役所、関係機関等

### 3) LED照明の普及促進と学習会等の開催

目的	横浜市内内での LED 照明の普及促進を目的として、各種団体、事業者等と連携する。
内容	各区役所、NPO、自治会・町内会、事業者等と連携して、学習会等を通して LED 照明の普及を促進するために、市内に於いて年間 9 回程度の普及キャンペーン、学習会等を実施する。 1) 講座内容 ①横浜市の温暖化対策 ②LED 照明の PR ③家庭で出来る省エネパンフレットの配布 ④よこはま太陽光普及キャンペーン 2020 の PR ⑤LED 照明使用調査
場所	区役所、関係機関、自治会・町内会、各種団体等
対象	自治会・町内会、個人等
期間	平成 29 年 6 月～30 年 1 月 9 回程度
予算	247 千円
募集方法	区の広報、インターネット、区役所、NPO、自治会・町内会への PR 等
協力団体等	横浜市、区役所、自治会・町内会、事業者・NPO 等

### (4) 大学・企業・団体交流会

目的	市内の大学、企業、団体が連携して、企業、団体の環境の取組、CSR の取組等を学び、現場等の体験を行いさらに行動計画を作成する。
内容	①交流会の開催 ②体験等の実施 ③行動計画の作成
場所	東京都市大学等
対象	大学・学生・事業者・団体等
期間	29 年 6 月～30 年 1 月
予算	96 千円
募集方法	会員への呼びかけ
協力団体等	大学・学生、事業者、団体等

(5) 風力発電とエネルギー関連施設等の見学会の開催

目的	風力発電とエネルギー関連施設等を見学し、エネルギーの現状を理解してもらうとともに、その場を活用して省エネ講座を実施し、29年度重点テーマのPR実施等による二酸化炭素削減の実践者を増やす。
内容	① 風力発電所「ハマウイング」と、エネルギー関連施設等の見学会を実施する。 ② 会場で省エネ講座を実施し、省エネパンフレットの活用、太陽光発電の普及、LED照明の普及を促進する。 ③ やっています・やりますアンケート等を実施する。
場所	風力発電所とエネルギー関連施設等
対象	一般市民1回合計50人
期間	11月(予定)
予算	130千円
募集方法	市の広報やインターネットなどにより募集
協力団体等	横浜市、エネルギー関連施設等

(6) 道志村「横浜市民の水源地間伐体験・水源地散策」

目的	横浜市民の水源地である道志村の水源地林が、取得100周年を昨年迎えたことを機に、横浜市水道局と連携して、一般市民・親子の間伐体験や水源地の見学等を通して、水源地としての山林の大事さ、山林の果たす地球温暖化防止の役割等について学ぶ。
内容	① 道志村バス見学会を実施する。親子の参加も呼び掛ける。 ② 現地にて水道局の協力を得て、間伐体験・横浜市民の水源地の見学・学習会を開催する。 ③ 間伐材集積の木の駅見学と、間伐材を活用した道志の湯の入浴体験を実施する。
場所	道志村
対象	横浜市民・親子
期間	平成29年9月
予算	201千円 (協定事業 100千円 自主事業 101千円 )
募集方法	市の広報等
協力団体等	横浜市水道局・東京都市大学等

## 4 自主事業

### (1) よこはま太陽光発電普及キャンペーン2020エコポイント事業

目 的	よこはま太陽光発電普及キャンペーン 2020 の促進を図り、横浜市エネルギーアクションプランに位置付けられている再生可能エネルギーの活用を図り、二酸化炭素削減を促進する。
内 容	<p>1) 事業者と連携して「よこはま太陽光発電普及キャンペーン 2020」で設置した家庭等に、エコポイントを発行する。</p> <p>2) エコポイントの取扱店は、会員事業者やこれまで連携した商店等とする。</p> <p>3) エコポイント代金、事務経費等については会員事業者負担金「地域貢献費」で対応する。</p> <p>4) 役割分担</p> <p>①協議会：エコポイントの発行、取扱店との調整、エコポイントチラシの作成、普及キャンペーン等の問い合わせ窓口の設置等</p> <p>②事業者：設置者へのエコポイント情報の提供、申請書の受取、協議会発行のエコポイントを設置者へ渡す等の実務への協力 エコポイント費、経費、事務費等の負担金「地域貢献費」の拠出 ※事業の実施について関係者との協議を進める。</p>
場 所	横浜市内
対 象	よこはま太陽光発電普及キャンペーン 2020 で設置の家庭等 150 軒程度
期 間	平成 29 年 6 月から平成 30 年 3 月（単年度ごとに予算化する）
予 算	2000 千円（エコポイント・事務費等 1600 千円、LED 調査 300 千円、一般管理費 100 千円）
募 集 方 法	設置時に事業者からチラシ等で案内する。
協力団体等	会員太陽光発電事業者、エコポイント扱い店

### (2) 台所油田プロジェクト

目 的	エネルギー自給率 6%の日本において、台所で廃棄される廃食油をエネルギーとして再利用し、エネルギーの有効活用を図り、二酸化炭素排出削減を実践する。
内 容	<p>1) 廃食油の回収</p> <p>① 会員事業者と連携し、区役所、自治会・町内会等のイベントで廃食油を回収し、エネルギーへの活用を図る。そのエネルギーを工場動力及び温室栽培の燃料、農業用重機等の軽油・重油代替エネルギーとして活用し、重油・灯油等から排出される二酸化炭素の削減を実践する。</p> <p>② 回収の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民まつり等のイベント（栄区、港南区、鶴見区等）</li> <li>・港南区と連携した「こうなんこどもゆめワールド」での廃食油の回収及びカーボンオフセットの実施。</li> <li>・自治会・町内会における定期回収の実践</li> </ul> <p>③区民まつり以外のイベントでの回収と自治会等での定期回収をめざす。</p> <p>④東京都市大学古川研究室と連携し、大学祭での回収を実施する。</p> <p>2) 廃食油を活用したキャンドルづくり</p>

	<p>3) 29年度は特に横浜市内でエコエネルギーの活用先の検討に力を入れる 発電、農業器具、クリーニング店のボイラー等</p> <p>4) 役割分担</p> <p>①協議会：区役所と連携した自治会・町内会、市民等へ廃食油回収の普及啓発</p> <p>②事業者：回収の実務、再燃料化、農家・事業者の燃料として活用 回収事業費の負担金の拠出</p>
場 所	市内各所
対 象	区役所、自治会・町内会、イベント、大学祭等
期 間	平成29年6月～30年3月
予 算	50千円
協力団体等	信愛エナジー合同会社、東京都市大学、区役所、自治会・町内会、地域の拠点等

### (3) 風力発電親子見学会

目 的	子ども達が環境にやさしいエネルギーについて学習し、地球温暖化に関心を持ってもらい、行動に繋げる
内 容	市環境創造局（風力発電協会）、横浜市資源循環公社と連携して、風力発電と関連施設の親子見学会を実施する。バス代等は協力団体が拠出する
場 所	横浜市内
対 象	横浜市内の親子
期 間	平成29年6月から平成30年3月 2回程度 (6月、3月)
予 算	70千円
募 集 方 法	市の広報
協力団体等	公益財団横浜市資源循環公社、横浜市環境創造局（風力発電協会）

### (4) 地球温暖化対策地域協議会視察・研修会事業

目 的	平成23年12月に開催した、「低炭素地域づくりサミット2011inいちかわ」において、共同宣言に賛同した地球温暖化対策地域協議会の役員及び事務局が集い、協議会間の連携を深める。
内 容	地球温暖化対策地域協議会視察・研修会事業への参加（会長・副会長・事務局） 県内地域協議会との情報交換の実施
場 所	今年度の事務局となる地域で開催
対 象	地域温暖化対策地域協議会会長・副会長・事務局
期 間	平成29年8月
予 算	20千円
募 集 方 法	全体事務局の市川市から各協議会によびかけ。 当協議会から神奈川県内の協議会に呼びかけ
協力団体等	関係機関

**(5) 会員との交流を実施する。**

29年度は会員事業者・団体・個人との連携を強化する

会員からの提案により、二酸化炭素削減に貢献できる事業は実施を検討する